【令和８年度 学校経営 重点目標】

西東京市立保谷中学校
校長　　市来原　真茂

保谷中学校の教育「５つの柱」

１の柱 「探究する力・学びを生かす力」の育成

(1) 生徒一人一人の「問い」や「疑問」から「自ら学ぶ力」を引き出し、「深い理解」を伴う「基礎基本」の「確実な習得」を促す。更に、自ら「課題」を設定し「解決」に向かう「探究する力」や「自ら学習を組み立てていく力」を培う。

(2) 目標・課題の提示と終末の振り返りを通して、生徒が自らの学習を把握し、次の学びに生かす力を育成する。また、「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る。

(3) タブレット等の効果的な活用を図り、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。

２の柱 「豊かな感性・実践力」の育成

(1) 生徒とのふれあいを大切にしながら生徒の内面に迫り、生徒一人一人の深い生徒理解をもとに、自他を尊重し多様性を認め合う豊かな人権感覚や感性・実践力を培う。

(2) 自他の多様な可能性やよさを認め合い、相互に高め合える共生社会の市民性を培い、またいじめや偏見・差別を許さない姿勢を育む。

(3) 道徳を全教員が担当し、各々の専門性を生かし、道徳的な諸価値を通じて生徒自身のよりよい生き方への考えを深め、実践を促す。

生徒が持続可能な共生社会を創り出す担い手として育つよう、「自ら主体的に学ぶ力」「探求心」を高め、他者と協働しながら「自主自立」と「自己決定力」につながる「やり抜く心と体」を培う学校の実現

令和８年度 「重点目標」

＜５つの柱＞

1 「探究する力・学びを生かす力」
2 「豊かな感性・実践力」
3 「キャリア形成・自己実現」
4 「自主自立」と「自己決定力」につながる「やり抜く心と体」の育成
5 「規範意識の醸成、及び持続可能な社会の形成を図る力」向けて課題解決を図る力」

３の柱「 キャリア形成・夢の実現」の支援

(1) 生徒が将来の夢を抱き、夢の実現に向けて自己のキャリア形成を図れるように、全教育活動を通して生徒一人一人が自分のよさを発揮し実感できるよう指導の工夫を行う。

(2) 授業を通して各教科の学びのよさや魅力を生徒自らが感じ取り、学級活動や行事を充実させ、学校の学びに価値を見出し、自己のキャリア形成につなげて、夢の実現に生かせるようにする。

(3) ハローワークや親父の会等の外部人材、地域の関係機関と連携し、職業講話や職場体験、進路学習等の体験的な学習を充実させ、働くことの意義や将来の見通しを持たせる。

５の柱 「規範意識の醸成、及び持続可能な社会の形成を図る力」の育成

(1) 学級や委員会等のよりよい集団活動を目指し互いの意見や主張を調整し合い、ルール等をつくり合う経験から、規範意識の醸成を図る。

(2) 「西東京ふるさと探究学習」をはじめ職業学習や挨拶運動・ボランティア活動等の体験を通し働く人々の役割や地域社会の価値等を学び、社会に貢献する意欲・意識を培う。

(3) 多様な体験学習を取り入れる。生徒同士の学び合いを活性化させ、多様な他者とともに課題解決を図る活動を充実させ、持続可能な共生社会の創り手となる資質・能力を育成する。

４の柱 「やり抜く心と体」の育成

(1) 生徒が行事の企画・運営に主体的に参画し、自ら考え、選択、実践する経験を通して、達成感や自己有用感を高め、やり抜く力を育成する。

(2) 生徒自らが考え創り上げる準備運動「保谷ステップ」を継続して実施し、体力向上と仲間と協働して取り組む態度や継続する力を育む。

(3) 学習や生活の目標を自ら定め、その実現に向けて見通しを持って選択・判断し、実践と振り返りを重ねながら、主体的に改善していく力を育成する。

変化と多様性が増す社会の中で、生徒一人一人が夢や希望を持ち、自分のよさを生かして他者と協働し、自分の生き方に誇りと責任を持ちながら、社会の一員として主体的に生きていけるようにする。そのために、生徒が持続可能な共生社会を創り出す担い手として育つよう、「自ら主体的に学ぶ力」「探求心」を高め、他者と協働しながら「自主自立」と「自己決定力」につながる「やり抜く心と体」を培う学校を実現する。